

平成29年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 領域計画書 応募情報（Web 入力項目）作成・入力要領

応募書類のうち「領域計画書」応募情報（Web 入力項目）については、この情報に基づいて応募内容の確認及び審査資料の作成を行うため、これらの入力内容によっては当該応募領域が審査に付されないことや審査の結果に影響を及ぼすことがありますので、作成に当たっては十分注意してください。

「領域計画書」応募情報（Web 入力項目）は、領域代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システムにアクセスして直接入力を行うものです。なお、研究組織及び経費欄の一部は、各計画研究の研究代表者が入力し提出した「研究計画調書」応募情報（Web 入力項目）が自動表示されます。

なお、応募情報の一部（エフォート等）は、e-Radに登録することとなります。

作成に当たっては、下記の点に留意しつつ公募要領で定めるルールに基づいて、領域代表者が責任を持って作成願います。

また、領域代表者の氏名や所属等については、領域代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、確認時に誤りを見つけた場合は、入力データを一時保存した上で所属研究機関の事務局に連絡し、その指示に従ってください。

記

1. 審査希望区分

公募要領11頁を参照し、「系・分野・分科・細目表（公募要領79～103頁）」に基づき、審査を希望する区分を以下のうちから必ず1つ選択してください。

「人文・社会系」・・・主として、「人文社会系」の複数の分科にまたがるもの

「理工系」・・・主として、「理工系」の複数の分科にまたがるもの

「生物系」・・・主として、「生物系」の複数の分科にまたがるもの

「複合領域」・・・主として、「総合系」の複数の分科にまたがるもの、又は上記の「系」の2つ以上にまたがるもの（1つの系を主とするものは除く。）又は、既存の学問分野の枠に収まらない融合領域の創成を目指すもの

※なお、上記の区分は、審査の体制を示しているものであり、分野の融合をこれらに限定したり、当該分野を固定化したりすることや、更なる分野の融合を妨げる趣旨ではありません。

2. 国際活動支援班

国際活動支援班の設置の有無を選択してください。

3. 仮領域番号

仮領域番号発行処理を行うことにより自動表示されます。

4. 応募領域名

応募領域名は、新学術領域研究として推進すべき研究領域の名称であることに留意して和文名称を原則40字以内で入力してください。

また、併せて英文名称（半角200字以内、改行は使用不可）及び領域略称名（8文字以内）

を入力してください。半角文字も入力可能ですが、全角文字と半角文字が混在する場合、半角文字も1文字としてカウントされますので、御注意ください。なお、領域略称名についても、可能な限り一般的ではない英語の略称は使用せず、応募領域の内容がわかるようにご配慮願います。

入力に当たっては、濁点、半濁点はそれだけで独立して1字とはなりません、アルファベット、数字、記号等はすべて1字として数えられ、表示されることに留意し、化学式、数式の使用は極力避けてください(例 Ca^{2+} → Ca2+ カウント数：4字)。

5. 領域代表者氏名

「氏名」欄は、領域代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該領域代表者が正しく登録されていることを確認してください。

6. 領域代表者所属研究機関・部局・職

「所属研究機関」欄、「部局」欄及び「職」欄は、領域代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該領域代表者に係る領域計画書作成時点での正しい所属情報が登録されていることを確認してください。

- (1) 「部局」欄について、自動表示されている部局名が実際に所属する部局名と異なる場合は、実際の部局名を入力してください(部局レベルの所属がない場合は名称欄には入力不要です)。
- (2) 「職」欄について、自動表示されている職名が実際の職名と異なる場合は、実際の職名を入力してください。

7. 応募領域の研究概要

応募領域の研究概要を、期待される成果を踏まえて、300字程度にわかりやすくまとめ入力してください(改行は使用不可)。

8. 関連研究分野(細目)

「関連研究分野」欄には、当該応募領域の研究内容に最も関連が深いと思われる分野・分科・細目を関連が深い順に3つまで選定し(最低1つは選定してください)、それぞれキーワード(自由記述)を入力してください。

細目番号一覧は入力画面から呼び出すことができます。公募要領(79~103頁を参照)にも掲載していますので参照願います。

9. 研究の対象

公募要領(11頁を参照)に示された「対象」のうち、応募領域がどの点に該当するか、領域計画書の「1 領域の目的等」欄の「(1) 目的」欄で強調している点を1つ選択し、該当欄にチェックをしてください。

10. 過去の「新学術領域研究(研究領域提案型)」又は「特定領域研究」からの発展

過去に「新学術領域研究(研究領域提案型)」又は「特定領域研究」において採択された研究領域を更に発展させる提案については、「該当する」を選択し、一覧から「過去の採択領域」の領域番号を入力してください。

※「該当する」を選択した場合は、領域計画書「1 領域の目的等」欄の「(1) 目的 5) 過去の採択領域からの発展性等」欄に詳細を記述してください。

※その他の研究費において採択された研究を発展させるものについては、「該当しない」を選択し、領域計画書「1 領域の目的等」欄の「(2) 準備状況等」に記述してください。

1 1. 研究組織

各計画研究の研究代表者が入力し、領域代表者が確定処理を行った「研究計画調書」応募情報（Web入力項目）について、正しく登録され、もれがないかどうかを確認してください。

また、研究組織については、初期表示では研究項目毎に研究代表者の所属する研究機関の機関番号順（機関番号が同じ場合には整理番号順）に表示されていますので、その表示順を変更したい場合は、「表示順」欄に、研究項目毎にその順番を入力してください（半角数字のみ入力可）。

なお、領域代表者が計画研究（総括班、国際活動支援班を除く）のいずれにも、研究代表者、研究分担者又は連携研究者として参画しない場合は、領域計画書「2 領域推進の計画・方法」欄の「(2) 領域のマネジメント体制 2) 領域代表者の領域推進に当たってのビジョン及びマネジメント実績」欄において、研究領域全体の把握、マネジメントを行うための方策を具体的に記述してください。

1 2. 研究経費

「計画研究」については、上記1 1. 研究組織と同様に正しく登録されていることを確認してください。

また、「公募研究」については、領域設定期間の1年目に平成30～31年度分、3年目に平成32～33年度分の公募を行いますので、「公募研究」欄の平成30年度及び32年度の「小計」欄に金額、「採択目安件数」欄に採択目安件数、「内訳」欄にその内訳（応募金額及びその件数）を入力してください（平成31年度及び33年度の「小計」欄及び「内訳」欄には、それぞれ平成30年度及び32年度と同じ内容が自動表示されます。）。なお、次の最低基準のどちらかを上回るよう設定してください。

- ・1年目と3年目それぞれの採択目安件数が10件を上回ること
- ・公募研究にかかる経費の総額（平成30～33年度の合計）が領域全体の研究経費（5年総額）の10%を上回ること

また、最低基準を上回るとどまらず、新学術領域研究の目的及び当該領域の特性を踏まえ、当該領域の研究の幅広い発展を目指す上で必要な件数及び必要な金額とするよう努めてください。

1 3. 領域代表者住所、連絡先

領域代表者の勤務先の郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、Emailアドレスを入力してください。

1 4. 事務担当者

事務的業務を担当する研究者の氏名（カナ・漢字）・所属研究機関・部局・職及び勤務先の郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、Emailアドレスを入力してください。

「所属・部局」の番号一覧については、入力画面から呼び出すことができます。

(1) 「部局」欄について、「その他」を選択した場合は、実際に所属する部局の名称を入力してください（部局レベルの所属がない場合は、名称欄には入力不要です。）。

(2) 「職」欄について、「研究員」「その他」を選択した場合は、実際の職名を入力してください。

1 5. 関連研究分野研究者

「関連研究分野研究者」欄には、当該応募領域並びに研究課題の関連分野に最も精通し、かつ、当該内容を的確に評価できると思われる研究者（原則として、科研費の応募資格を有する者（公募要領20～21頁を参照））で、当該応募領域に参加していない者3名の氏名等を入力してください。

ただし、当該応募領域の領域代表者及び計画研究代表者との関係において、次の①から⑤に該当する者を除きます。

- ① 親族関係もしくはそれと同等の親密な個人的関係
- ② 緊密な共同研究を行う関係（例えば、「共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究会への参加」を通じ緊密な関係にある者）
- ③ 同一講座（研究室）において同一の研究を行う所属関係
- ④ 密接な師弟関係
- ⑤ 研究課題等の評価に参画することにより公正性が失われると見なされるおそれのある対立的な関係もしくは競争関係

16. 審査意見書作成者として適当ではないと思われる研究者

また、競争的・対立的関係にある等の理由により、審査意見書作成者（※）として避けてほしいと思われる研究者がいる場合には、「審査意見書作成者として適当ではないと思われる研究者」欄に、氏名等及び避けてほしい理由（50字以内）をそれぞれ入力してください（該当する者がいない場合は空欄のままで構いません。なお、3名まで入力することができます。）。

※科学研究費助成事業「新学術領域研究」の審査要綱の「2 審査方法」参照。

17. 社会的発展可能性（以下に該当する場合のみ記述）

社会的発展可能性については、本領域が将来的に、政府の「科学技術イノベーション総合戦略2016」、「日本再興戦略2016」、「健康・医療戦略」等に掲げる施策、取組に貢献すると考えられる場合は、（1）どの項目（施策・取組）に主として関係するかを記述し（複数可）、（2）項目ごとに項立てをした上で、本領域の研究内容とどのように関係しているのかを簡潔に記述してください。

なお、本欄の記述内容は審査の対象にはなりません。今後、研究成果等を最大限把握・活用するための各府省における取組等に活用させていただくこととしております。

（記入例）

（1）本領域の推進が、「科学技術イノベーション総合戦略」、「日本再興戦略」、「健康・医療戦略」等のどの項目に主として関係するかを記述してください。

※「科学技術イノベーション総合戦略」、「日本再興戦略」に該当する場合

①クリーンなエネルギー供給の安定化と低コスト化（科学技術イノベーション総合戦略 重点的課題）、②クリーン・経済的なエネルギー需給の実現（日本再興戦略 戦略市場創造プラン テーマ2）、

※「健康・医療戦略」に該当する場合

③疾患に対応した研究＜新興・再興感染症＞（健康・医療戦略 達成すべき成果目標（KPI））

（2）上記について、本領域の研究内容とどのように関係するのかについて簡潔に記述してください。

①については…。②については…。

<参考>

「科学技術イノベーション総合戦略2016」（平成28年5月24日閣議決定）

URL : <http://www8.cao.go.jp/cstp/sogosenryaku/2016.html>

「日本再興戦略2016」（平成28年6月2日閣議決定）

URL : <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/>

「健康・医療戦略」（平成26年7月22日閣議決定）

URL : <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouryou/senryaku/index.html>

応募情報(Web入力項目)画面イメージ【新学術領域研究(研究領域提案型)一領域計画書】

JSPS
科研費電子申請システム
ヘルプ ログアウト

応募者向けメニュー > 領域計画書作成 > 領域計画書入力 > 領域計画書確認 > 領域計画書確認完了

領域計画書入力
画面を表示してから29分経過

最終保存日時: XXXX年XX月XX日 XX時XX分

<注意事項>

- 計画研究の研究計画調書を確認すると、「一時保存して次へ進む」ボタンが表示されます。領域計画書の作成を完了するには、「領域計画書作成」画面から計画研究の研究計画調書を確認してください。
- *のついた項目は必須項目です。
- 入力中に、一定時間、ボタン操作をせずにおくと、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時「一時保存」ボタンをクリックして情報を保存して下さい。もし、セッションタイムアウトのエラーメッセージが出た場合は、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」を参照下さい。
- 複数ウィンドウ(複数タブ)を開いて利用すると、システムが正常に動作しない場合があります。複数ウィンドウでのご利用は控えてください。

一時保存して次へ進む
一時保存
保存せずに戻る

平成29年度(2017年度)新学術領域研究(研究領域提案型) 領域計画書

審査希望区分*	<input type="radio"/> 人文・社会系 <input type="radio"/> 理工系 <input type="radio"/> 生物系 <input type="radio"/> 複合領域
国際活動支援班*	<input type="radio"/> 設置する <input type="radio"/> 設置しない
仮領域番号	XXXXXX (40字以内。)
応募領域名	<input style="width: 100%;" type="text"/> (英文:改行は使用不可) <input style="width: 100%;" type="text"/> (領域略称名) <input style="width: 100%;" type="text"/>
領域代表者氏名	(フリガナ) タイヒョウ イチロウ (漢字等) 代表 一郎
所属研究機関	(番号) 99999 XXX大学
部局	(番号) 999 ○○部 <small>(部局名が異なる場合に入力)</small>
職	(番号) 20 教授 <small>(職名が異なる場合、又は「その他」の場合に入力)</small>

応募領域の研究概要

画面を表示してから29分経過
一時保存

関連研究分野(細目)	細目番号	<input style="width: 100%;" type="text"/>	(1)	(2)	(3)
	分野	<input style="width: 100%;" type="text"/>			
	分科	<input style="width: 100%;" type="text"/>			
	細目	<input style="width: 100%;" type="text"/>			
	キーワード	<input style="width: 100%;" type="text"/>			

研究の対象*

(1) 既存の学問分野の枠に収まらない、新興・融合領域の創成を目指すもの。
 (2) 当該領域の格段の発展・飛躍的な展開を目指すもの。

該当する
 該当しない

過去の「新学術領域研究(研究領域提案型)」又は「特定領域研究」からの発展*

※過去に「新学術領域研究(研究領域提案型)」又は「特定領域研究」において採択された研究領域を更に発展させる提案については、「該当する」を選択して下記の「過去の採択領域」を入力するとともに、領域計画書「1.(1)5過去の採択領域等からの発展性」を必ず記述してください。
 ※その他の研究費において採択されたものについては、「該当しない」を選択し、領域計画書「1.(2)準備状況等」に記述してください。

過去の採択領域
*「該当する」を選択した場合は、必ず入力してください。

領域番号	<input style="width: 100%;" type="text"/>	(1)	(2)	(3)	(4)
領域略称名	<input style="width: 100%;" type="text"/>				

画面を表示してから29分経過
一時保存

【研究組織】

※研究組織の表示欄を変更したい場合は、表示欄を入力してください。(半角数字のみ入力可)

表示順	研究区分	研究課題名	研究期間	代表者氏名	所属研究機関 部局 職	構成員数
	総括班	XXXXXXXXの研究	平成29年度～平成33年度	XXXXXXXX 代表 一郎	(99999) XXX大学 (999) XX部 (20) 教授	5人
	国際活動支援班	XXXXXXXXの研究	平成29年度～平成33年度	XXXXXXXX 代表 一郎	(99999) XXX大学 (999) XX部 (20) 教授	5人
A01-□	研究項目A01 計画研究	アアアの研究	平成29年度～平成33年度	XXXXXXXX 研究 一郎	(99999) アアア大学 (999) アア部 (20) 教授	7人
A01-□	研究項目A01 計画研究	イイイの研究	平成29年度～平成33年度	XXXXXXXX 研究 二郎	(99999) イイイ大学 (999) アア部 (20) 教授	5人
A02-□	研究項目A02 計画研究	エエエの研究	平成29年度～平成33年度	XXXXXXXX 研究 三郎	(99999) エエエ大学 (999) エエ部 (20) 教授	5人
A02-□	研究項目A02 計画研究	オオオの研究	平成29年度～平成33年度	XXXXXXXX 研究 四郎	(99999) オオオ大学 (999) オオ部 (20) 教授	11人
AXX-□

画面を表示してから29分経過
一時保存

【研究経費(単位:千円)】

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計
計画研究							
総括班	代表 一郎	5,000	5,000	4,000	4,000	4,000	22,000
国際活動支援班	代表 一郎	5,000	5,000	4,000	4,000	4,000	22,000
研究項目A01	研究 一郎	7,000	7,000	7,000	5,000	5,000	31,000
研究項目A01	研究 二郎	4,000	4,000	2,000	2,000	0	12,000
研究項目A02	研究 三郎	10,000	4,000	0	0	0	14,000
研究項目A02	研究 四郎	2,000	0	0	0	0	2,000
...
小計		33,000	25,000	17,000	15,000	13,000	103,000
公募研究 (各年度の採択目安件数は10件を上回るように設定するか、または公募研究にかかる経費の総額が領域全体の研究経費(5年総額)の10%を上回るように設定してください。)		内訳 (必要な分だけ入力してください) 2500 × 6件 1500 × 4件 × 件 × 件 × 件 × 件		内訳 (必要な分だけ入力してください) 2500 × 6件 1500 × 4件 × 件 × 件 × 件 × 件		2500 × 6件 1500 × 4件 × 件 × 件 × 件 × 件	
		採択目安件数:10件 小計:21,000		採択目安件数:10件 小計:21,000		採択目安件数:10件 小計:21,000	
合計		33,000	46,000	38,000	36,000	34,000	187,000

画面を表示してから29分経過

一時保存

領域代表者	〒* (住所)*	電話番号:*		FAX番号:*		Email:*	
事務担当者	氏名	(フリガナ)* (姓)		(名)			
		(漢字等)* (姓)		(名)			
	所属	(番号)*	XXX大学				
	部局	(番号)*	(部局番号一覧の名称と部局名が異なる場合に入力)				
	職	(「研究員」、「その他」を選択した場合に入力)					
	〒* (住所)*	電話番号:*					
		FAX番号:*					
		Email:*					

画面を表示してから29分経過

一時保存

【関連研究分野研究者】

氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門	連絡先電話番号	Email
* 姓	* 名	*	*	*	*	*
*	*	*	*	*	*	*
*	*	*	*	*	*	*

【審査意見書作成者として適当ではないと思われる研究者(任意)】 ※PDFファイルには変換されません

氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門	避けてほしい理由
姓	名				

【社会的発展可能性(任意)】 ※PDFファイルには変換されません

本領域の応募にあたって、社会的発展可能性について記載すべき事項がある場合に、自由に記載してください。

(1) 本領域の推進が、「科学技術イノベーション総合戦略」、「日本再興戦略」、「健康・医療戦略」等のどの項目に主として関係するかを記述してください。(改行は使用不可)(500字以内。)

(2) 上記について、本領域の研究内容とどのように関係するのかについて簡潔に記述してください。(改行は使用不可)(1,500字以内。)

「領域計画書」応募内容ファイル選択

作成した「領域計画書」応募内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください。

参照...

- 「領域計画書」応募内容を修正する場合は、修正済みの「領域計画書」応募内容ファイルを選択しなおすと、前のファイルが削除されて上書きされます。
- 「領域計画書」応募内容ファイルに修正がない場合、「領域計画書」応募内容ファイル選択欄は空欄のまま構いません。
- 「領域計画書」応募内容ファイルについてはWordファイルの代わりにPDFファイルを選択することも可能です。(PDFファイルは「領域計画書」応募内容ファイル様式(Word又は本会並びに文部科学省が提供する様式)を型で作成したものに限りです。)
- 「領域計画書」応募内容ファイル様式の余白設定を変更すると、エラーとなる場合がありますので、余白設定は変更しないでください。

一時保存をして次へ進む

一時保存

保存せずに戻る

ログアウト

平成29年度 新学術領域研究（研究領域提案型）
領域計画書 作成・記入要領

- 1 新学術領域研究（研究領域提案型）の応募に当たっては、公募要領に基づき（i）応募時に提出する書類、（ii）ヒアリング対象領域選定後に提出する書類の二段階に分けて提出することとなっています。
この「領域計画書」は、「（i）応募時に提出する書類」であり、ヒアリング対象領域を選定する際の審査資料となるものです。なお、「領域計画書」は、ヒアリング対象領域に選定された後にも審査資料となりますが、応募時に提出した内容について修正することができませんので御留意ください。
- 2 領域計画書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、領域代表者及び各計画研究の研究代表者が責任を持って作成願います。特に、領域代表者は、各計画研究の研究代表者が入力する応募情報だけでなく、その基となる各計画研究の研究内容についても十分確認してください。
- 3 指定がある場合を除き、所定の様式の改変は認めません。また、該当頁以外に頁の追加は認めません。
- 4 英語で記入された「領域計画書」も受け付けます。ただし、「領域計画書」応募情報（Web入力項目）のうち13. 領域代表者、14. 事務担当者、15. 関連研究分野研究者、16. 審査意見書作成者として適当ではないと思われる研究者、17. 社会的発展可能性については日本語で入力してください。

I 応募情報（Web入力項目）

以下の項目については、「領域計画書」応募情報（Web入力項目）であり、領域代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。

「領域計画書」応募情報（Web入力項目）は、領域計画書の前半部分を構成することになります。

「領域計画書」応募情報（Web入力項目）に係る作成・入力要領は、「平成29年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 領域計画書 応募情報（Web入力項目）作成・入力要領」を参照願います。

1. 審査希望区分
2. 国際活動支援班
3. 仮領域番号
4. 応募領域名、英訳名、領域略称名
5. 領域代表者氏名
6. 所属研究機関・部局・職
7. 応募領域の研究概要
8. 関連研究分野（細目）
9. 研究の対象
10. 過去の「新学術領域研究（研究領域提案型）」又は「特定領域研究」からの発展
11. 研究組織
12. 研究経費
13. 領域代表者
14. 事務担当者
15. 関連研究分野研究者
16. 審査意見書作成者として適当ではないと考える研究者
17. 社会的発展可能性

II 「領域計画書」応募内容ファイル（添付ファイル項目）

以下の項目は、「領域計画書」応募内容ファイル（添付ファイル項目）の内容であり、領域計画書の後半部分を構成することになります。

領域代表者は、「領域計画書」応募内容ファイル（添付ファイル項目）について、文部科学省の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものを、「電子申請システム」にアクセスしてアップロードしてください（6MBを超えるファイルは添付不可）。なお、下記1.～3.（1）までについては、**11ポイント以上**の文字等を使用して記入してください。

1. 領域の目的等

（1）目的

応募領域の全体構想及び研究目的について、公募要領の「目的」及び「対象」に合致することが明確になるよう、特に次の点について焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。（5頁以内、項目の区切り位置の変更可。）

1) 研究の学術的背景

- ・ 応募研究領域の着想に至った経緯
- ・ 関連するこれまでの研究活動（研究水準の現状・実績）

2) 対象とする学問分野

- ・ 本領域が対象とする基礎研究分野（基礎から応用への展開を目指す分野を含む。）及び本審査区分を選択した理由
- ・ 本領域のどのような点が、「①既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成を目指すもの」、又は「②当該領域の格段の発展・飛躍的な展開を目指すもの」のいずれかに該当すると判断したのか
- ・ 対象となる学問分野を融合させて、どのような革新的・創造的な学術研究の発展が期待される研究領域の創成・発展に資するのか

3) 本領域の重要性・発展性

- ・ 本領域が「(i)国際的優位性を有する（期待される）もの」、又は「(ii)我が国固有の分野もしくは国内外に例を見ない独創性・新規性を有する（期待される）もの」、又は「(iii)学術の国際的趨勢等の観点から見て重要であるが、我が国において立ち遅れており、当該領域の進展に格段の配慮を必要とするもの」のいずれであるかについて、国内外の動向、比較・位置付け、国際的水準から見た現状等を含めて記述

4) 研究期間終了後に期待される成果等

- ・ 研究期間終了後に期待される成果
- ・ どのような学術的又は社会的意義・波及効果等が期待されるのか

5) 過去の採択領域等からの発展性等（該当する研究領域のみ）

- ・ 過去に「新学術領域研究（研究領域提案型）」又は「特定領域研究」において採択された研究領域を発展させる提案については、当該研究費で期待された成果が十分得られているか、更に格段の発展・飛躍的な展開を図る内容となっているか（中間評価・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果についても記述）
- ・ 応募情報（Web入力項目）において「該当しない」を選択した場合はその旨を記述

(2) 準備状況等

本欄には、特に次の点について焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。

- ①今までに関連のテーマで過去に新学術領域研究（研究領域提案型）又は特定領域研究に応募したことがある場合は、その応募内容と所見を含む審査結果、ならびにその後の主な変更点・進展について記述してください。
- ②過去に「新学術領域研究（研究領域提案型）」又は「特定領域研究」以外の研究費において採択された研究領域を更に発展させるものについては、当該研究費で期待された成果が十分得られているか、更に格段の発展・飛躍的な展開を図る内容となっているか（中間評価・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果についても記述）を記述してください。
- ③学会活動、その他の方法による応募に至るまでの準備研究・事前調査の状況を記述してください。

(3) その他

本欄には、本領域の応募にあたって、上記「(1)目的」、「(2)準備状況等」に記載できなかった事項で、本領域の必要性等について記載すべき事項がある場合に、自由に記述してください。（1頁以内）

2. 領域推進の計画・方法

(1) 領域推進の計画の概要

当該領域の推進に当たっての、

- 1) 基本的な研究戦略（研究項目を設ける場合にはその考え方を含む）、
- 2) 領域における具体的な研究内容（研究項目を設ける場合には項目毎の研究内容を含む）
- 3) 各研究項目、各計画研究の必要性及び研究項目間、計画研究間での有機的連携を図るための具体的方法

について概念図等を用いて示してください。また、平成29年度と平成30年度以降に分けて研究計画・方法を示してください。（2頁以内、項目の区切り位置の変更可。）

概念図の記入要項

概念図は本欄の枠内で記載してください。

なお、概念図においては、研究項目間、計画研究間の関係を示し、領域として何を目指すのかを明確に示してください。

注)「計画研究」（総括班含む）及び「公募研究」を設けていない応募研究領域は審査に付しません。なお、「国際活動支援班」の設置は任意です。

注) 研究領域を効率的に発展させるため、研究テーマや領域における役割などにより「計画研究」や「公募研究」をグループ化した研究項目を設定することができます。

(2) 領域のマネジメント体制（3頁以内、項目の区切り位置の変更可。）

1) 領域代表者を中心とした領域推進に十分貢献できる研究者による有機的な連携体制

領域推進に十分貢献できる研究者により組織が構成されているかについて記述してください。また、必要に応じ概念図を示してください。

概念図の記入要項

概念図は、必要に応じ本欄の枠内に記載してください。

なお、概念図においては、領域全体の組織図等を用いて、総括班、各研究組織の役割及び、活動内容等を明確に示してください。

2) 領域代表者の領域推進に当たってのビジョン及びマネジメント実績

複数の研究者をまとめ、領域推進に当たって研究組織の総合力を発揮するためには、研究とは別に、リーダーである領域代表者のマネジメント能力が求められます。

領域代表者が、どのような構想を持って円滑な組織運営をし、領域を推進するかについて、基本的な考え方を明らかにしてください。また、過去の異なる研究組織におけるマネジメント実績（新学術領域研究（研究領域提案型）や特定領域研究、他の研究費に係る研究組織における企画・運営、国際学会の企画・運営、各学会の運営、共同利用研究所等における研究計画・運営等）がある場合、それらについて示してください。なお、領域代表者が計画研究（総括班、国際活動支援班を除く）のいずれにも、研究代表者、研究分担者又は連携研究者として参画しない場合は、実質的な研究を行わない組織とされている総括班にのみ属している状況において研究領域全体の把握、マネジメントを行うための方策について、具体的に記述してください。

3) 総括班、各研究組織の役割及び活動内容等

- ・領域を推進するに当たっての総括班の運営方針、役割、研究組織の構成、個々の構成員の役割、活動内容等について基本となる考え方を説明してください。構成員については、構成員の氏名、専門分野及び研究代表者・研究分担者・連携研究者の別を記入してください。その際、どのように本領域の全体的な研究方針を策定し、各研究項目、各計画研究の企画調整等を行っていくのか明らかにしてください。
- ・総括班において、応募領域の研究支援活動（本領域内で共用するための設備・装置の購入・開発・運用、実験試料・資材の提供等）を効率的かつ効果的に行う場合には、その必要性、役割及び活動組織について併せて記述してください。

(3) 領域推進の計画・方法の妥当性（1）～3）は2頁以内、項目の区切り位置の変更可。）

1) 領域及び計画研究の具体的な達成目標

研究期間終了時の達成目標、学術上の意義・インパクトを含めてわかりやすく記述してください。

2) 1) を実現する具体的な計画・方法（共同研究、若手を含む研究人材の育成、設備の共用化等の取組を含む）

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、平成29年度の計画と平成30年度以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究が当初計画どおり進まない時の対応など、多方面からの検討状況を述べるとともに、異分野融合により、どのように研究を実施していくのかについても記述してください。

3) 国際的なネットワークの構築、国内外の優れた研究者との共同研究、海外の研究機関との連携、国内外への積極的な情報発信など、「国際活動支援班」の設置により考慮している場合はその取組を記述してください。なお、「国際活動支援班」を設置しない場合は、必要がない理由等を記述してください。

4) 各計画研究（総括班及び国際活動支援班を除く）の研究組織及び研究内容の概要

各計画研究の研究課題名、研究組織（予定される研究者数、研究代表者、研究分担者及び連携研究者の氏名・所属・職・専門分野・研究役割分担）及び研究内容の概要について、領域全体の推進に当たっての役割及び必要性が明確になるように分かりやすく記述してください。

作成に当たっては、計画研究毎に本欄の枠内（1/2頁程度）で作成してください。なお、本欄については計画研究数に応じて枠の数を増やすことが可能です。

また、応募の段階で、研究期間の途中から計画研究を追加する計画は認めません。

5) 公募研究の役割

公募研究は、領域設定期間の1年目に平成30～31年度分、3年目に平成32～33年度分の公募を行います。

応募領域の推進に当たって、公募研究が本領域においてどのような位置付けにあり、領域全体としてどのような研究を期待するのかについて記述してください。

また、何件程度の研究課題を必要とし、1研究課題当たりどの程度の研究経費が必要かを示すとともに、公募研究の金額を設定する際は、研究遂行が十分可能な研究経費を計上してください。計上の際は、次の最低基準のどちらかを上回るよう設定してください。

- ・1年目と3年目それぞれの採択目安件数が10件を上回ること
- ・公募研究にかかる経費の総額（平成30～33年度の合計）が領域全体の研究経費（5年総額）の10%を上回ること

なお、応募領域の公募研究の配分額の総額については、領域計画書に記載の「公募研究」の「研究経費」の範囲内で設定されます。また、重複制限により、同一研究者が公募研究の研究代表者として受給できる件数は2件（ただし、同一領域に2件応募することはできません。）に限ることとなっておりますので御留意ください。

3. 研究経費の妥当性

(1) 研究期間との関連性を含めた研究経費の必要性

応募領域の研究内容及び研究体制等を踏まえ、応募する研究経費の必要性・妥当性について研究期間との関連性を含めて記述してください。なお、研究期間内の特定の年度に重点的に研究費を配分する場合又は、年間の応募研究経費の総額（総括班、国際活動支援班、公募研究を含む。）が、応募上限の目安である3億円を超える場合は、年度ごとに3億円を超える理由、その必要性・妥当性を記述してください。

なお、1年度目は計画研究（総括班及び国際活動支援班を含む。）のみが研究等を開始することになりますので御注意ください。

(2) 各計画研究の費目別内訳及び主要な設備備品費

本欄については、可能な限り2頁以内で記入してください。ただし、必要があれば3頁になっても構いません。ここでの計画研究には、総括班及び国際活動支援班を含みます。

- ①各計画研究の費目別の内訳について、記入例を参照の上、計画年度別に簡潔に記入してください。その際、どの計画研究のものが分かるように作成してください。また、最後に各費目別の合計を記入してください。

(記入例)

【総括班 (X00)】

(単位：千円)

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合計
設備備品費						
消耗品費						
旅費	国内					
	海外					
人件費・謝金						
その他						
合計						

～ ～

【合計】

(単位：千円)

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合計
設備備品費						
消耗品費						
旅費	国内					
	海外					
人件費・謝金						
その他						
合計						

②各計画研究の主要な設備備品費については、装置名、数量、予定価格、設置年度、設置予定機関、設置予定機関の現有設備が活用できない理由等について記入してください。なお、領域内で共用するための装置・設備を購入するにもかかわらず、各計画研究において、類似の装置・設備の購入等を行う場合には、その理由・関係性を記述してください。

4. 主要研究業績

領域代表者、研究代表者及び研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権等、招待講演のうち本研究に関連する重要なものを、領域代表者又は研究代表者においては10件程度、研究分担者においては5件程度選定し記入してください。なお、学術誌へ未掲載の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限りません。

また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、「(3) 各計画研究の連携研究者」として別に項目を立て記入してください。この際、領域代表者、研究代表者、研究分担者の研究業績として既に記載したものは、記載しないでください。

なお、研究業績については、主に2012年以降の業績を中心に記入してください。それ以前の業績でも本領域に深く関わるものについては記入しても構いませんが、5頁以内で記入してください。

発表論文の場合の記載形式は、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記載されていれば、項目の順序は入れ替えても構いません。また、著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）することも可能です。なお、領域代表者及び研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線を付すとともに、corresponding author には左に*印を記入してください。

平成29年度 (2017年度) 新学術領域研究 (研究領域提案型) 領域計画書

平成 XX 年 XX 月 XX 日
版

審査希望区分		整理番号		
仮領域番号		領域略称名		
応募領域名				
英訳名				
領域代表者 氏名	(フリガナ)			
	(漢字等)			
所属研究機関				
部 局		職		
応募領域の 研究概要				
関連研究分野(細目)		(1)	(2)	(3)
	細目番号			
	分野			
	分科			
	細目			
	キーワード			
研究の対象				
過去の採択領域 等からの発展				

研究経費【単位：千円】

研究区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	合 計 [千円]
計画研究						
小 計						
公募研究						
内 訳	-					-
採択目安件数	-	件	件	件	件	
小 計	-					
合 計						

領域代表者	住所		
	電話番号		
	Fax番号		
	Email		
事務担当者	氏名	(フリガナ)	
		(漢字等)	
	所属研究機関		
	部 局		
	職		
	住所		
	電話番号		
	Fax番号		
	Email		
関連研究分野 研究者	氏名	所属研究機関 部局 職	現在の専門 連絡先電話番号 Email